



令和元年度 民謡民舞全国大会
民舞の部 準優勝

宮坂流津山銭太鼓保存会

- 宮坂 一樹さん（前列右から3人目）
- 宮坂 麻未さん（前列右から2人目）
- 全本 弥生さん（後列右から3人目）
- 全本 結理さん（後列右から1人目）
- 山中 彩花さん（前列右から1人目）
- 黒田 文音さん（前列右から4人目）
- 森田 香さん（後列右から2人目）
- 西尾 徠さん（後列右から4人目）

昭和46年に宮坂身志さん（林田）が設立した郷土芸能団体。銭太鼓を中心に、傘踊り、日本舞踊など幅広く郷土芸能に取り組んでいる。伝統文化の基本を守りつつ、音楽・衣装・化粧を工夫し、スピードと技の魅力を加え、新しい分野も開拓している。令和元年12月に東京都で開催された民謡民舞全国大会に出場し、銭太鼓で初の準優勝を果たす。



▲民謡民舞全国大会での演技の様子

◀宮坂流津山銭太鼓保存会の演技は、こちらから見ることができます（動画サイトYouTube）



銭太鼓はどのような楽器ですか？

約30cmの筒状の棒の中に複数の5円玉が入っていて、棒を振ることで銭が触れ合う音を利用する楽器です。以前は竹筒でしたが、現在は水道管のパイプを使っています。

棒の両端に装飾を施していて、2本1組で使います。会員の手作りなので、色のバリエーションが豊富です。

銭太鼓の魅力は？

床に膝を付けた状態で、上半身だけで演技します。演者同士が息を合わせ、銭太鼓の音と体の動きを合わせて表現することに魅力を感じています。

また、銭太鼓の投げ技や座ったまま反る動作など、独自の技を取り入れています。最大限に体を動かして表現し、躍動感のある演技を心掛けています。技が成功したときの達成感、ひとしおです。

受賞した感想は？

以前は、とても良い演技ができたと思っても、評価に結び付かず、悩んだ時期がありました。今回、全国大会に出場するにあたり、皆さんに演技を見てもらいたいという気持ちが強くありました。準優勝を獲得でき、とてもうれしかったです。

津山の皆さんにメッセージを

津山の人に愛される会でありたいです。伝統芸能は、一部の人が興味を持つという印象がありますが、演出に工夫を凝らし、子どもから大人まで、面白さや魅力を感じてもらいたいです。

他県の行事に出演することが多いですが、津山でもっと演技したいです。津山の人に喜んでもらえるよう頑張っていきますので、応援をよろしくお願いします。

注目！今月の津山人で取材した宮坂流津山銭太鼓保存会の宮坂一樹さん。取材する中で印象に残ったのは、繊細な手の動きでした。インタビュー中の身振り手振りに日本舞踊らしさが垣間見えて、長年の稽古の積み重ねを感じました。5月に宮坂流の家元を継ぐそうです。今後とも活躍を期待しています。(三)

あるお店で見つけたプラスチック容器の使用見本。「広報紙の収納にぴったりなサイズです」という言葉と一緒に収まる見慣れた冊子！読むだけでなく、こんな使い方があるのかと、にんまりしました。毎号、それぞれに思い入れがあります。読んだ後も大事にされ、活躍する姿に元気をもらいました。(一)

楽しみにしていた津山ゆかりの名刀の写し刀がいよいよ4月にお目見えします。本物の日本刀を間近で目にする機会って、実はあまり無いですよ。さらに、津山郷土博物館と津山文化センターが4月にリニューアルオープンし、5月には東京2020オリンピック聖火リレーも新しいことが目白押しです。(W)



編集・発行
津山市総合企画部秘書広報室(〒780-3000)
〒708-8501 岡山県津山市北520

☎ 0868-32-2029
☎ 0868-32-2152
✉ kouhou@city.tsuyama.lg.jp

広報津山は、環境保護のため再生紙と植物性インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル（資源）にご協力ください。

広報津山 電子版
津山市公式ウェブサイト



津山市公式 LINE



津山市公式 インスタグラム

